

<b>■After</b> 建築名称 下段: 英語名	<b>インターメディアテク</b> INTERMEDIATHEQUE			
建築用途	大分類 展示	小分類 博物館		
改修設計者	東京大学総合研究博物館インターメディアテク寄付研究部門+株式会社丹青社+株式会社SIMPLICITY			URL
所在地	東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー2・3階			Google Map
改修年	2013年 オープン			After 2F常設展示場内観
建築規模				撮影者提供 提供: インターメディアテク
掲載書誌			<b>概要 after</b> 5.5mの高い階高を活かし、東京中央郵便局現業室の雰囲気を残して東京大学総合研究博物館の展示施設にリノベーション	
賞・選定	・アジアデザイン賞2013 ブロンズ賞、・2013年度グッドデザイン賞、・DSA空間デザイン賞2013 ・空間デザイン大賞/日本経			
資料・その他	URL			
<b>■Before</b> 建築名称	<b>東京中央郵便局</b>			<b>概要 before</b> 吉田鉄郎設計のモダニズム建築代表作品
建築用途	大分類 交通流通	小分類 物流、郵便局		
<b>■写真</b> Before 東京中央郵便局時代の内観	After 骨格展示の窓の先に東京駅舎を見る事が出来る	After ホワイエ展示風景		
				
撮影者提供 提供: インターメディアテク	撮影者提供 撮影: 桐原武志 2023年	撮影者提供 提供: インターメディアテク		
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更、痕跡	<b>内容</b> <丹青社Websiteより引用>既存資源をリ・デザインした空間・・・空間デザインに関しては、既存資源や価値体系を最大限に活用され、再構築することで、独創的な空間、展示が実現。使い古されて異なる記憶や履歴を持つ学術標本や什器、そして建築までもトータルに「リ・デザイン」することによって、独自のレトロフューチャリズムの世界が創出されました。 建築については、現行法規に順応させながら、旧局舎の保存建築がもつ豊かな空間・歴史・空気感を最大限に活かしたデザインとなっています。例えば、2階のギャラリ―では既存の床はそのまま活用、その一部に郵便の集配場だった当時の痕跡が残されています。また、新たに設けなければならない設備配管等も審美性の高いミニマルなデザインによって雰囲気を損なわなくなっています。あわせて、東京大学の学内で使われていた歴史的な記憶や物語を有する什器が配され、歴史や記憶、学術の雰囲気が漂う唯一無二の空間となっています。		
<b>■備考</b>				
<b>■作成者</b> 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		作成協力 JPビルマネジメント	